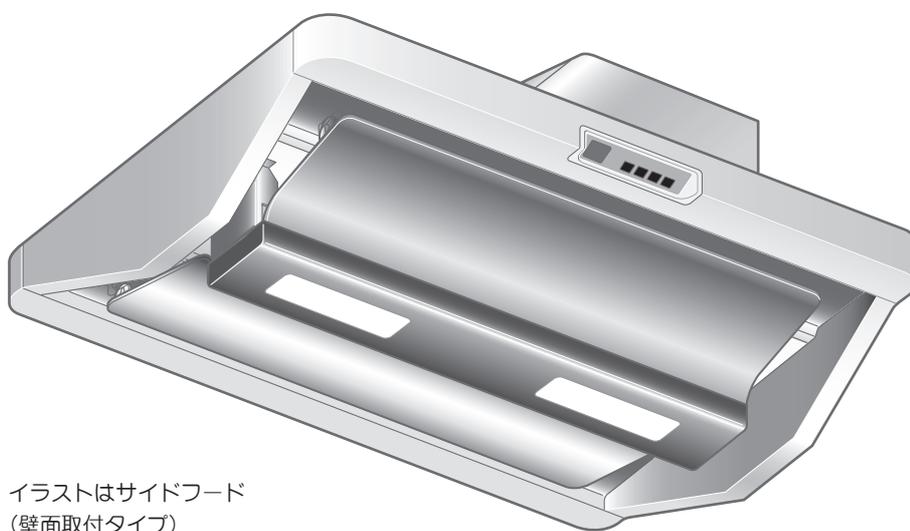


レンジフードファン

ツインフラットシリーズ

取扱説明書



イラストはサイドフード
(壁面取付タイプ)

も く じ

安全上のご注意	2～3
使用上のお願い	4
使いかた	5～7
各部のなまえ	5
親水性塗装処理について	5
操作スイッチ	6・7
お手入れのしかた	8～16
取りはずし・組み立てのしかた	9・10
お手入れのしかた	11・12
ファンのお手入れのしかた	12～15
ランプ交換のしかた	16
故障かなと思ったら	17
仕様・アフターサービス	18
修理を依頼されるときは	19

販売店・工事店様へ：
この取扱説明書は施工後、
施主様へ必ずお渡しください。

このたびはレンジフードファンをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
ご使用される前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは取付説明書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 **警告** : 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

 **注意** : 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



○ 記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

警告



分解・修理
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
火災・感電・けがの原因となります



水かけ禁止

- 電気部品(モータ・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



プラグを
抜く

- ランプを交換するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
感電することがあります



プラグを
抜く

- お手入れの際は必ずスイッチをロックするか、電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
また、ぬれた手で抜き差し、入/切しないこと
感電やけがをすることがあります

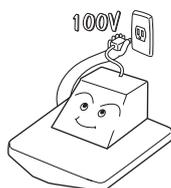


分電盤



使用禁止

- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります



ほこりを
とる

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよく拭くこと
火災の原因となります



操作禁止

- ガス漏れの際は、スイッチを入/切しないこと
爆発・引火のおそれがあります

安全上のご注意

⚠ 注意



プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
コードに傷がつき、火災や感電の原因になります



プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカを切ること
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります



分電盤



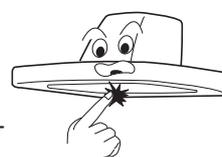
運転停止

- 調理中、油に火がついたときは、運転を止めること
運転をしていると、火の勢いがよけいに強くなり危険です



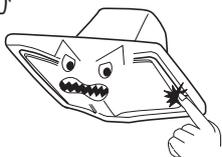
接触禁止

- 調理中は、整流板や周辺の部品に手を触れないこと
整流板や部品が落下して、やけどやけがをすることがあります



接触禁止

- 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



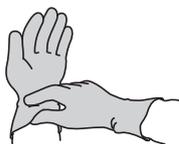
取付注意

- お手入れの際には必ずした前板やファン、部品の取り付けは確実におこなうこと
落下によりけがをするおそれがあります



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



使用禁止

- 本体に異常な振動が発生した場合、使用しない
本体・部品の落下によりけがをするおそれがあります



使用禁止

- 指定以外のランプを使わないこと
ランプカバー周辺が高温となり、やけどのおそれがあります



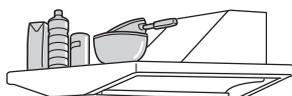
高温注意

- ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなう
やけどのおそれがあります



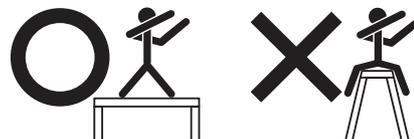
禁止

- レンジフードファンの上に物を置かないこと
落下してけがをしたり、火災や故障の原因となります



作業注意

- 作業は必ず、安定した台の上に乗っておこなうこと
バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります



使用上のお願い

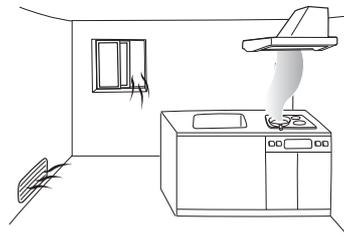
- 調理器具を使用するときは、必ずレンジフードファンを運転してください

運転しないとフード内の温度が上がり、製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- レンジフードファンの運転中は給気をおこなってください

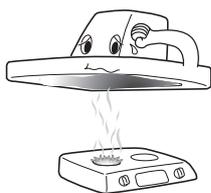
レンジフードファン反対側の壁に空気の取入口を設けるか、部屋の扉を少し開けてください。空気の取り入れが不十分ですと換気性能が低下します



- 部屋の扉や窓からの風が強い場合には、横風等の影響で煙の捕集性能が悪くなる場合があります。レンジフードファン近辺の扉や窓からの横風等の影響がないようにしてください

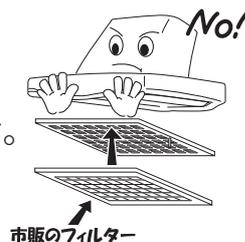
- エアコンの風が直接あたらないようにしてください。風を受けると、吸い込みが悪くなります。オープンな場所では特にレンジフードファンから漏れやすくなります

- 調理器具の空焚きは絶対にしないでください。製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- 市販のグリスフィルターに交換したり、重ねて使用しないでください

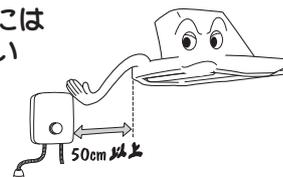
吸い込みが悪くなり、異音・振動が発生する場合があります。性能を維持するため、純正の金属製グリスフィルター（スロットフィルタ）をご使用ください



- IHクッキングヒーター（電気こんろ）を使用時、レンジフードファンがあたたまりにくいため、結露（水滴）が生じることがあります。お手数ですがその際は滴下する前に拭き取ってご使用ください。特に冬期など気温の低い状況では結露がしやすくなりますのでご注意ください

- 湯沸器はレンジフードファンから50cm以上離してください。レンジフードファンの下部には湯沸器を絶対に取り付けないでください

製品の損傷や高熱による故障の原因となります



- グリル付の調理器具と合わせて使用する場合、グリル排気口から出る煙によって、壁パネルもしくはランプカバー表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください

- 調理器具の真上、80cm以上に取り付けてあるか確認してください。火災予防のため、火災予防条例ではグリスフィルターの下端が調理器具の真上、80cm以上必要です

- キッチンが気温が低いときに使用された場合にはレンジフードファンの表面が結露することがあります。この場合は拭き取って使用してください

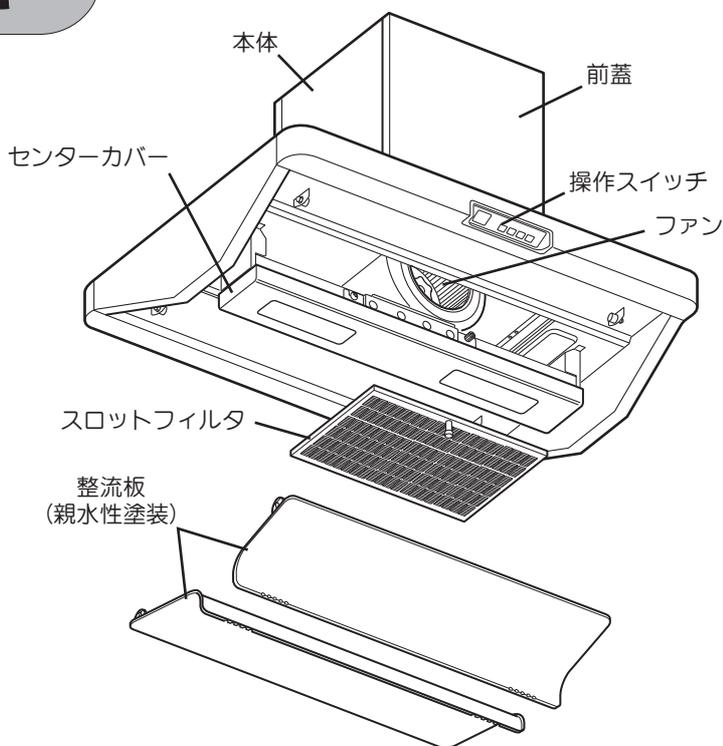
- 整流板をはずして使用しないでください。吸い込みが悪くなります

使いかた

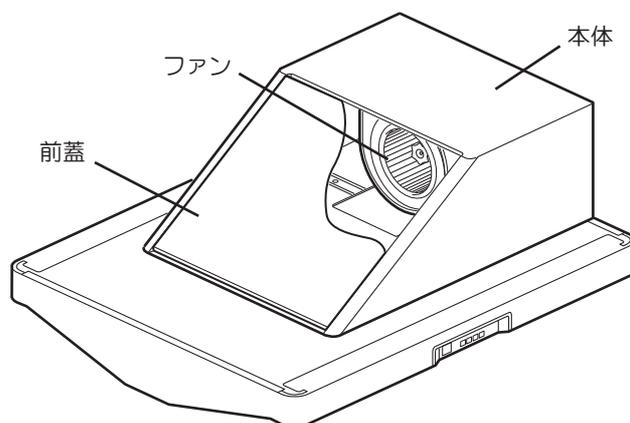
各部のなまえ

(モデルにより本体のデザインが異なります。)

センターフード (天井取付タイプ)



サイドフード (壁面取付タイプ)



親水性塗装処理について

- 整流板に親水性塗装処理を行っており、油汚れが取り易くなっています。

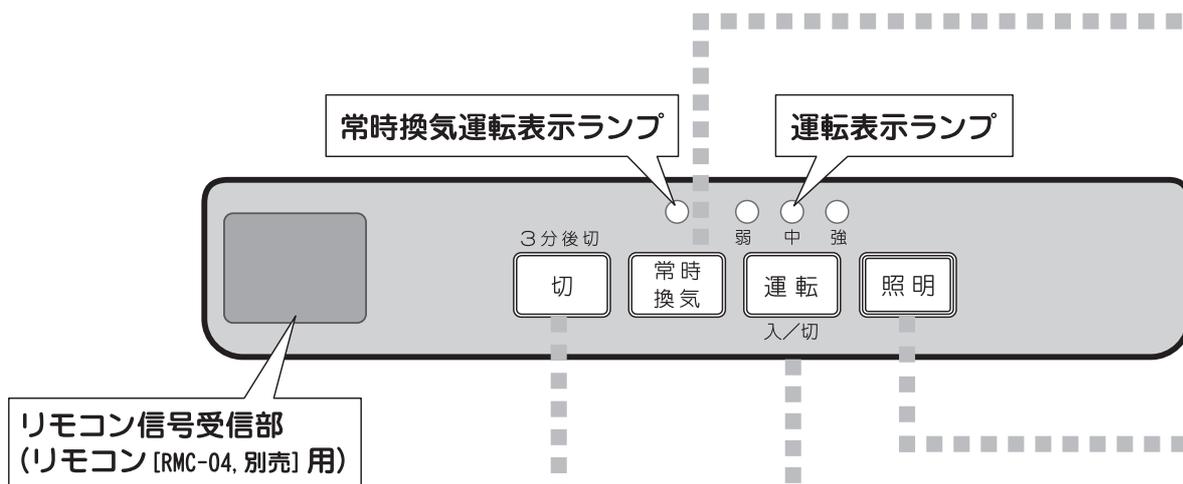
お願い

- 油汚れの取り易い親水性塗装処理の効果を生かすには、早期の掃除（1ヶ月以内）が必要です。
- 長時間放置すると、十分な効果を発揮しません。
- 整流板に多量の油が付着した場合は、その都度拭き掃除してください。その際、整流板は必ず片手で支えながら掃除してください。
- 整流板を変形させると、コーティングがはがれ、親水性塗装処理の効果が得られないおそれがあります。
- 金属たわしなどの固いものは、処理面を傷つけますので、使用しないでください。

使いかた

操作スイッチ

* レンジフードファンの操作は別売リモコンスイッチ
(品番:RMC-04)でもご使用になれます。
(リモコンスイッチでは常時換気の設定/解除はできません)



3分後切



3分後切スイッチ

通常、調理が終わった後は、^{3分後切}「切」スイッチを押してください。そのままの風量で約3分間運転し続けて自動的に運転を停止します。3分間のタイマー運転により、調理の後の臭いやファンについた油汚れなどを落とします。

※ 常時換気モードが設定されている場合は、3分後に常時換気運転に切り替わります。
※ 照明は消えません。照明スイッチを押すと消えます。

● スwitchの「ロック」(操作機能全てが「切」状態になります)

この操作は本体のお手入れやランプ交換の際には必ず行ってください。

^{3分後切}「切」スイッチを約3秒間押し続けると「ピー」と音が鳴り、スイッチがロックされ、ファンは停止し、照明も消灯されます。

このとき、**弱・中・強の運転表示ランプ**が点滅し、「切」以外のスイッチを押しても「ピピッ」と警告音が鳴り、ファン・照明は作動しません。

「ロック」を解除するには、もう一度「ピー」と音がするまで^{3分後切}「切」スイッチを約3秒間押し続けます。ロック解除後は、必要に応じて常時換気、照明、運転・風量切替スイッチを再操作してください。

※ ロック操作は調理を終え、レンジフードファンが十分冷めた状態で行ってください。

※ 停電した場合やブレーカを切った場合は、ロックは解除されます。

常時
換気

常時換気スイッチ

本レンジフードファンは建築基準法による住宅の常時換気を行う設備として使用できます。調理やお手入れのときを除き、連続換気が出れます。(風量は「弱」よりも少ない微弱モードで運転します。)

スイッチを押すと常時換気モードに設定されます。常時換気モードを解除するには3秒間押し続けます。

●常時換気運転時(常時換気運転表示ランプが点灯)に^{弱 中 強}  スイッチ(弱・中・強)を押すと、^{入/切} レンジフード運転に切り替わり、設定された風量で運転し続けます。運転スイッチを「切」状態または^{3分後切}  スイッチを押すと、常時換気運転に切り替わります。

※レンジフードファン運転時に常時換気の設定/解除はできません。(レンジフード機能が優先されます。)

*専用調理器具と連動運転の場合も同様です。

照明

照明入/切スイッチ

押すと照明が点灯します。スイッチを押すたびに点灯/消灯を繰り返します。

弱 中 強

運転

入/切

運転・風量切替スイッチ

スイッチを押すたびに設定が変わり運転表示ランプが切り替ります。但し「強」の次は「切」になります。「切」の表示ランプはありません。)



常時換気モードに設定されている場合は、「切」にする
と常時換気運転に戻ります。

弱 : 煙の少ないとき。静かに運転したいとき。
中 : 通常の運転のとき。
強 : 煙の多いとき。早く換気したいとき。
切 : 運転を停止したいとき。常時換気に戻したいとき。



レンジフードファン連動タイプ専用調理器具と組み合わせてご使用になる場合

- 連動調理器具を着火すると、自動的にレンジフードファンは「中」運転を行います。この状態からレンジフードファンのスイッチ(切、風量切替、照明)操作が行えます。
- 調理器具を消火した時、レンジフードファンは自動的に3分後運転を停止しますが、照明や常時換気はもとのままの状態です。

- レンジフードファンの風量調節および照明の入/切などの操作を調理器具前面の操作パネルでも行えます。(詳細については調理器具の取扱説明書をご覧ください。)

専用調理器具については弊社までお問い合わせください。

お手入れのしかた

警告



電源を切る

- お手入れやランプ交換の際は、レンジフードファンの運転を停止し、照明を消す
次に必ず切スイッチを約3秒間押し、スイッチを「ロック」状態にするが、分電盤のブレーカを下げる(切る)こと
その際、ぬれた手で入/切しないこと
感電やけがをすることがあります



水かけ禁止

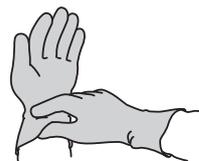
- 電気部品(モータ・スイッチ等)は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります

注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



取付注意

- お手入れの際にはずした前板やファン、部品の取り付けは確実に起こすこと
落下によりけがをすることがあります



お手入れの際のお願い

● おそうじはこまめにする

- ・油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
- ・特にスロットフィルタは汚れやすいので、1ヶ月に1度程度の頻度でおそうじしてください。早めにおそうじいただきますと、汚れが簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。

● 中性洗剤を使う

- ・おそうじの際には台所用中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズがついたり、はがれたりするおそれがあります。汚れがひどく、アルカリ性合成洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。



レンジフードファンの油汚れ落としに最適な、弊社推奨の弱アルカリ合成洗剤「サットレールスプレー」、「サットレールシート」があります。
お問い合わせは裏表紙をご覧ください。

● 熱湯は変形のもと

- ・60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。

● ファンを変形させない

- ・ぶついたり、落としたりして変形したファンで運転すると、振動や異音が発生するおそれがあります。

● ファンなしでは運転しない

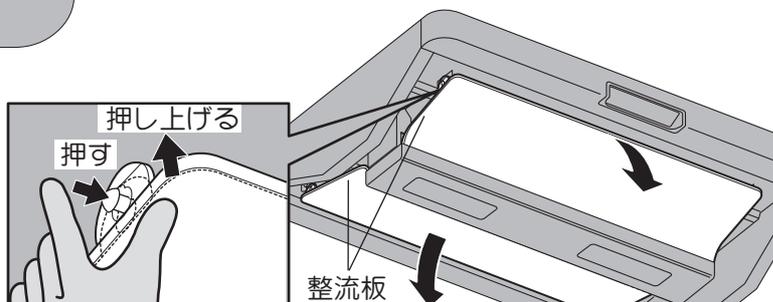
- ・ファンをはずした状態で運転しないでください。モータが過熱して故障の原因になります。

お手入れのしかた

取りはずしのしかた

1 整流板をはずします。(前、後面2枚あります。)

整流板を左右から両手で支え、押し上げながら上部両角のストッパーを押し込み、手前へ取りはずします。



注意

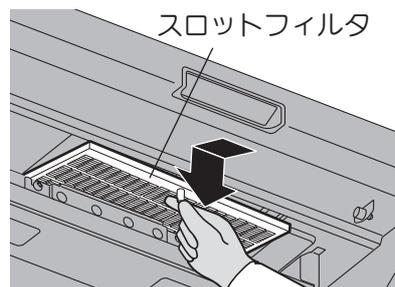


必ず守る

- 整流板を落とさないように両手でしっかりと支えること
- 整流板を本体から取りはずさずに、右図のような状態でお手入れをしないこと
落下するとけがをしたり、部品の傷・変形の原因となります

2 スロットフィルタをはずします。

スロットフィルタのつまみを持って、奥側へ押しながら下げてはずします。



3 センターカバーをはずします。

注意



必ず守る

- 後面の整流板を必ずはずすこと
整流板をつけたままセンターカバーをはずすと、整流板が急にはずれ、思わぬケガをしたり、部品のキズ・変形の原因となります

お願い

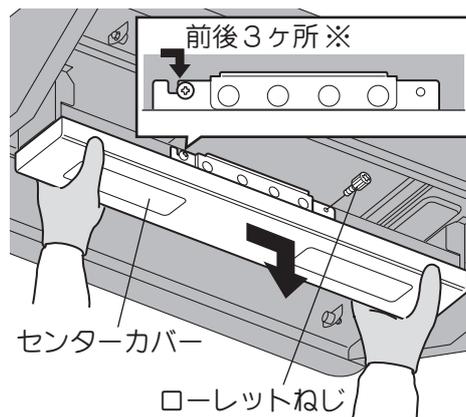
取りはずす際は、中にたまった油をこぼさないように水平に持ち、ゆっくりとはずしてください。
特に冬期など気温の低い状況では結露水がたまりやすくなりますのでご注意ください。

① 正面(スイッチ側)のローレットねじをはずします。

※ ローレットねじはなくさないようにご注意ください。

② センターカバーを右へスライドさせながら下げて取りはずします。

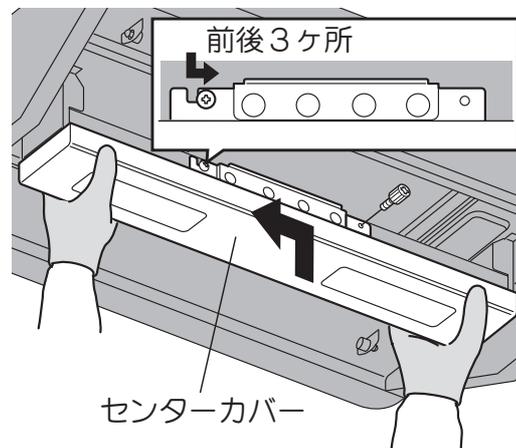
※ 前後3ヶ所のフックで固定されていますが、カバーをスライドさせるとはずれます。ねじをはずす必要はありません。



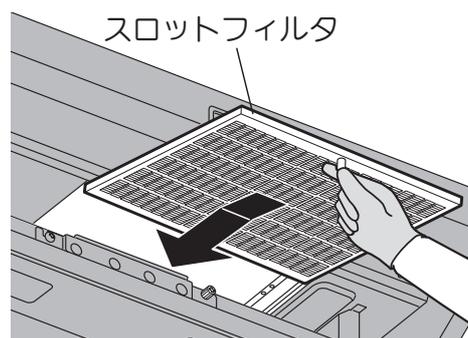
お手入れのしかた

組み立てのしかた

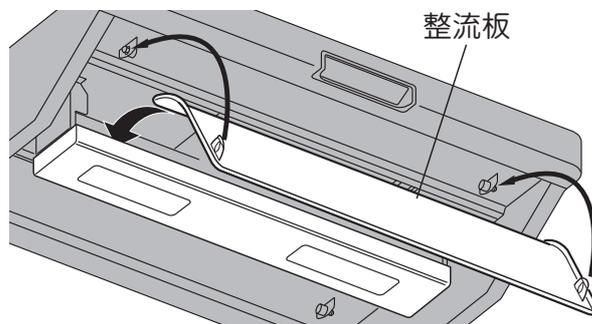
- 1** センターカバーを取り付けます。
- ① センターカバーのフック部分(3ヶ所)を本体のねじに差し込み、左へスライドさせます。
 - ② ローレットねじを締めつけます。



- 2** スロットフィルタを取り付けます。
- スロットフィルタの奥側下部を本体の板バネに押し付けながら取り付けます。



- 3** 整流板を取り付けます。
- 整流板を左右から両手で支え、押し上げながら上部両角のストッパーにより固定されるまで押しこみます。



お手入れのしかた

お手入れのしかた

取りはずしのしかた、組み立てのしかたは、9～10ページをご参照ください。

警告



水かけ禁止

- 電気部品（モータ・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電のおそれがあります



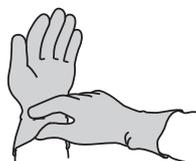
注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



こまめにお掃除してください。

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。

早めにお掃除いただきますと、汚れが簡単に落とせますし、塗装面の劣化も防げます。

■ スロットフィルタ

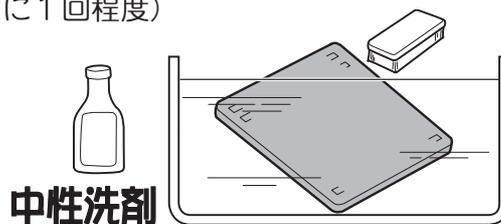
（汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：1ヶ月に1回程度）

中性洗剤を溶かしたぬるま湯に浸したのち

金属以外のタワシなどで洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないように

水洗いし、水気をとってから取り付けてください。



お願い

フィルタはこまめにお掃除してください。

目詰まりを放置すると、換気不良の原因となります。

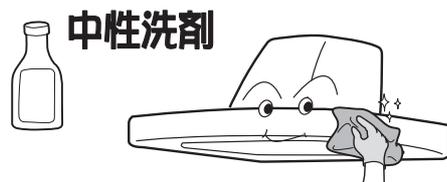
お手入れのしかた

■ 本体・整流板

(汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：1ヶ月に1回程度)
中性洗剤溶液に浸した布で汚れをふきとったあと、洗剤が残らないよう、清水で湿らせた布で洗剤を良くふきとってください。
特に下端部は汚れが付きやすいのでこまめにふきとってください。

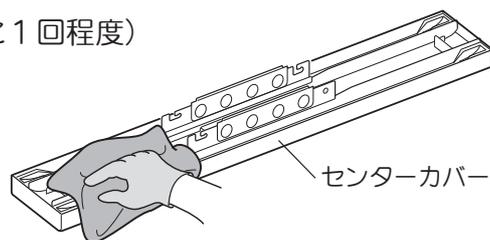
お願い

はずした整流板は平らな面でお手入れしてください。(変形・傷の原因となります。)
また、親水性塗装のコーティングがはがれ、親水性塗装処理の効果を得られないおそれがあります。)
※金属ブラシやタワシなどの固いものは、処理面を傷付けますので使用しないでください。
※アルカリ性洗剤を使用しますと、変色のおそれがあります。



■ センターカバー

(汚れたらその都度お手入れしてください。 目安：1ヶ月に1回程度)
センターカバーは本体に取り付けたまま、お手入れすることができます。
内面などよりきれいに清掃する場合ははずしてお手入れをしてください。



ファンのお手入れのしかた

⚠ 注意



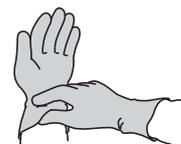
電源を切る

- お手入れやランプ交換の際は、レンジフードファンの運転を停止し、照明を消す次に必ず切スイッチを約3秒間押し、スイッチを「ロック状態にするが、分電盤のブレーカを下げる(切る)ことその際、ぬれた手で入/切しないこと
感電することがあります



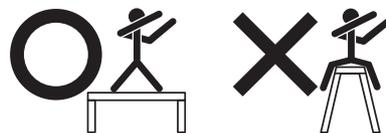
手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



作業注意

- 作業は必ず、安定した台の上に乗っておこなうこと
バランスをくずして倒れ、けがをすることがあります



お手入れのしかた

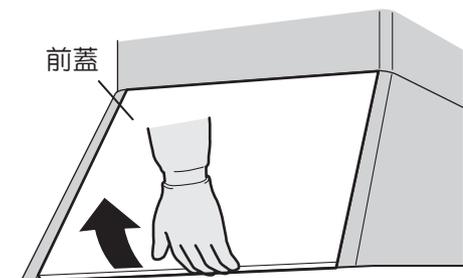
レンジフードファンを長期にお使いになり、汚れがひどい場合でファンもお手入れする場合には次の手順で行ってください。

※ お手入れの際は必ず、分電盤のレンジフードファン専用のブレーカを下げ（電源を切って）ください。

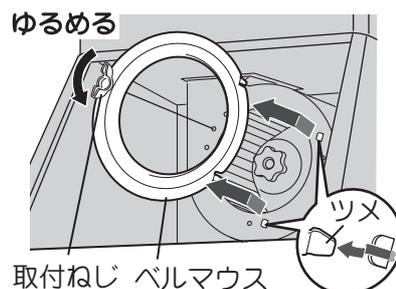
■ ファンのはずしかた

● サイドフード（壁面取付タイプ）の場合

- 1 前蓋をはずします。
前蓋は、上部のツメで、下部はローラーキャッチで取り付いています。
本体斜面部分の下側に指先を入れて引き上げ、前蓋を取りはずします。



- 2 ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ1ヶ所を手で緩め、ベルマウスをスライドさせて右側2ヶ所のツメからはずします。



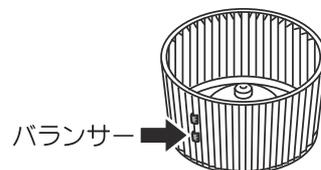
- 3 ファンをはずします。
ファンを押さえ、ツマミを「ゆるむ」の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。

※ ファンを軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



お願い

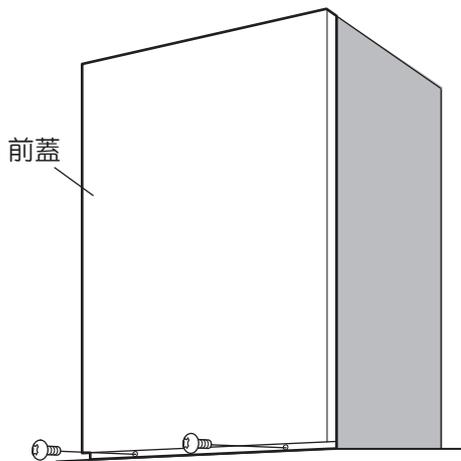
- ファンを強く押さえたり、ぶついたり、落としたりして変形させないでください。（異常な音や振動の原因となります。）
- ファンの回転バランスをとるために、ランサー（重り）がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。（バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。）



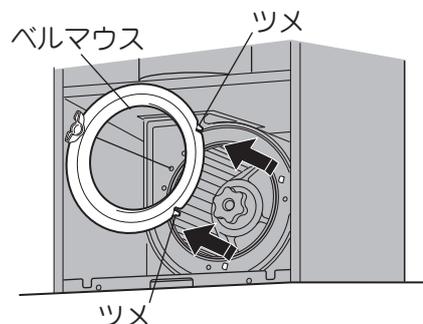
お手入れのしかた

● センターフード (天井取付タイプ) の場合

- 1** 前蓋をはずします。
運転スイッチ面の本体前蓋下部のねじ2本をはずし、手前に引きながら上部2ヶ所のツメをはずし、前蓋をはずします。

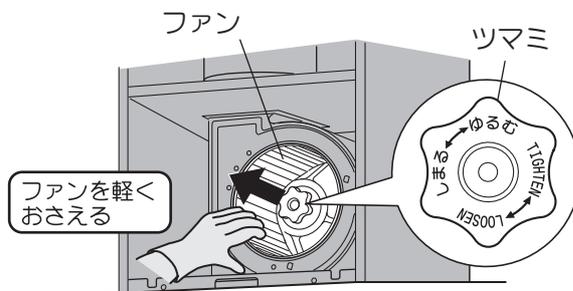


- 2** ベルマウスをはずします。
ベルマウスの取付ねじ1ヶ所を手で緩め、ベルマウスをスライドさせて右側2ヶ所のツメからはずします。



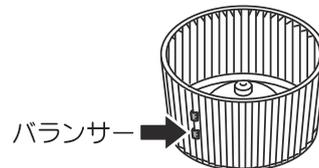
- 3** ファンをはずします。
ファンを押さえ、ツマミを「ゆるむ」の方向に回してはずしたあと、ファンを取り出します。

※ ファンは軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



お願い

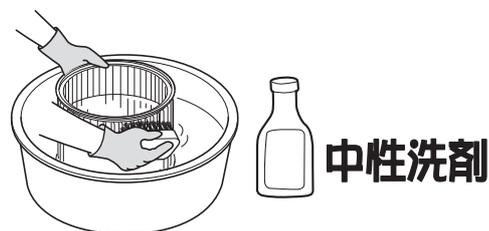
- ファンを強く押さえたり、ぶついたり、落としたりして変形させないでください。
(異常な音や振動の原因となります。)
- ファンの回転バランスをとるために、バルンサー (重り) がついている場合がありますが、絶対にはずさないでください。
(バランスがくずれ、吸い込みが悪くなったり、異音の原因となります。)



■ ファンの洗いかた

ファンを本体からはずし、中性洗剤を溶かしたぬるま湯につけて洗ってください。

汚れを落としたあと、洗剤が残らないよう水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



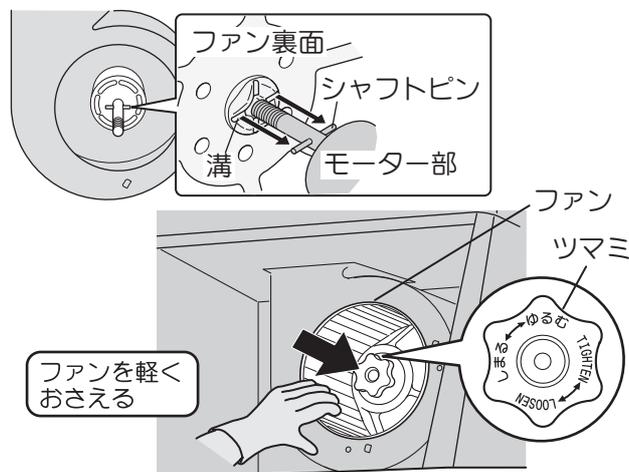
お手入れのしかた

■ファンの取り付けかた

1 ファンを取り付けます。

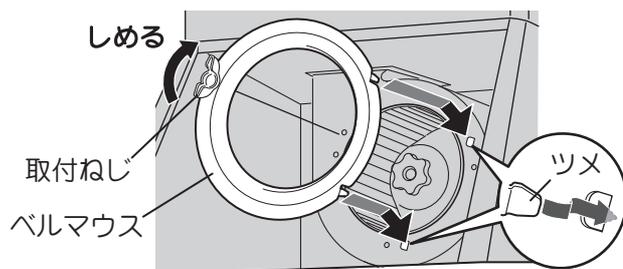
- ① ファンを根元まで差し込んでください。
- ② ツマミを「しめる」の方向に回して締め付けてください。

※ ファンは軽くおさえてください。
強くおさえると変形することがあります。



2 ベルマウスを取り付けます。

- ベルマウスのツメ2ヶ所を差し込み、取付ねじ1ヶ所を締め付けてください。
- ベルマウスを取り付けてから、ファンを手で回してこすれ音などが無いことを確認してください。

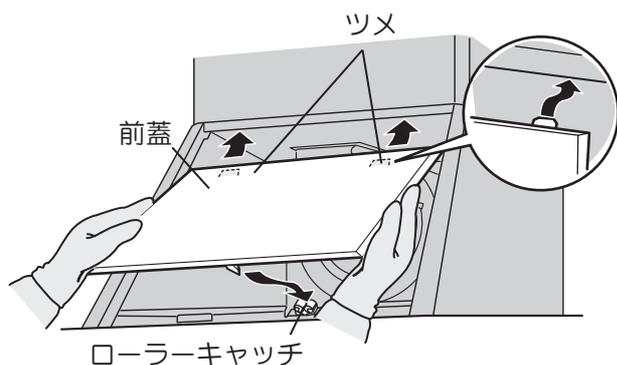


お願い

ファン・ベルマウスは確実に取り付けてください。(異音や故障の原因となります。)

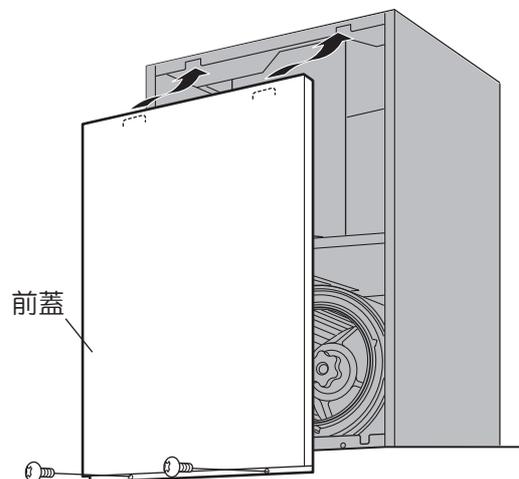
3 前蓋を取り付けます。

- サイドフード(壁面取付タイプ)の場合**
前蓋上部のツメを本体引っ掛け穴に引っ掛け、下部のローラーキャッチを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



センターフード(天井取付タイプ)の場合

- 前蓋上部のツメを本体の引っ掛け穴に引っ掛け、下部2ヶ所をねじで固定します。



※ 完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで約3秒間押ししてスイッチの「ロック」を解除してください。
また分電盤のレンジフードファン専用のブレーカを上げて(電源を入れて)ください。

お手入れのしかた

ランプ交換のしかた

ご使用のランプが切れたときは、市販のミニ電球（定格100V 40W・口金径17mm）を購入し交換してください。

警告



電源を切る

- お手入れやランプ交換の際は、レンジフードファンの運転を停止し、照明を消す
次に必ず切スイッチを約3秒間押してスイッチを「ロック」状態にするか、分電盤のブレーカを下げる（切る）こと
その際、ぬれた手で入/切しないこと
感電することがあります



分電盤



注意



使用禁止

- 指定以外のランプを使わないこと
ランプカバー周辺が高温となり、故障や、やけどのおそれがあります



高温注意

- ランプの交換は、ガラスやランプが十分冷めてからおこなう
やけどのおそれがあります



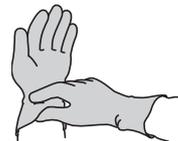
禁止

- 照明ボックス・センターカバー以外の場所をさわらない。
けがや故障の原因となります

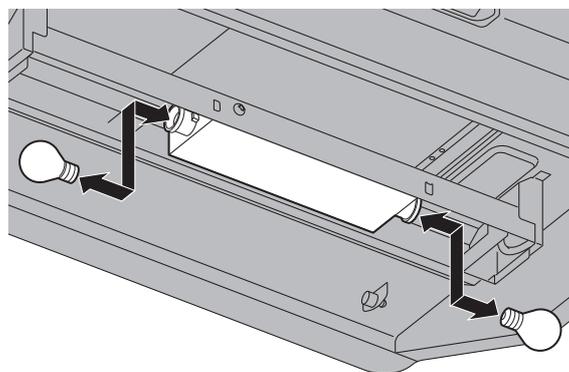


手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



- 1 整流板とセンターカバーをはずします。
（9ページの取りはずしのしかたを参照してください。）
- 2 ランプを交換します。
切れたランプを取りはずし、ソケットに新しいランプを確実に固定します。
- 3 センターカバーと整流板を取り付けます。



※ 完了後は再び切スイッチを「ピー」と音が鳴るまで 約3秒間押してスイッチの「ロック」を解除してください。
また分電盤のレンジフードファン専用のブレーカを上げて（電源を入れて）ください。

故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

症状

考えられる原因

処置

- スイッチを入れてもファン・照明の電源が入らない。
- ファンがまわらない。

- 分電盤のブレーカが「切」になっている。
- 電源プラグがはずれている。

- 分電盤のブレーカを「入」にする。
- 電源プラグを差し込む。

- 照明がつかない。

- ランプが切れている。
- ランプの取り付けがゆるんでいる。

- ランプの交換をする。
- ランプを取り付け直す。
(16ページ参照)

- リモコンスイッチを操作しても動作しない。(別売リモコンを使用している場合)

- 電池が減っている。
- 電池の向きが間違っている。
- リモコンの発信部や本体操作スイッチの受信部が油で汚れている。
- ロック状態になっている。(ロック状態ではリモコンスイッチを押すと「ピピッ」という音がします。)

- 電池を交換する。
- 電池を正しく入れる。
- 発信部・受信部をそうじする。
- ロックを解除する。
(6ページ参照)

- 弱・中・強の表示ランプが点滅する。

- ロック状態になっている。

- ロックを解除する。
(6ページ参照)

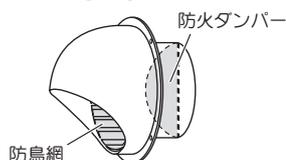
- 異常音がする。

- ファンのツマミがゆるんでいる。
- スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。
- 外からの給気が十分でない。

- ファンのツマミを締め直す。
- スロットフィルタをそうじする。
(11ページ参照)
- 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。

- 吸い込みが悪い。

- 市販のグリスフィルターを重ねている。
- スロットフィルタが汚れて目詰まりしている。
- 外からの給気が十分でない。
- エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。
- 屋外のベントキャップの防鳥網が目詰まりしている。
- 屋外の防火ダンパーが閉じていて、排気されない。



- 市販のグリスフィルターをはずす。
- スロットフィルタをそうじする。
(11ページ参照)
- 窓・給気口を開け、十分な給気を確保する。
- 風があたらないようにする。
- 修理を依頼する。
- 修理を依頼する。

- 運転が止まらない。

- 常時換気モードが設定されている。

- 常時換気モードを使用しない場合は設定を解除する。
(7ページ参照)

仕様

モデル	定格電圧 (V)	ノッチ	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m ³ /h)		騒音 (dB)
					0 Pa	100 Pa	
サイドフード (壁面取付タイプ)	100	強	50	101	540	440	43
			60	107	500	430	42
		中	50	65	380	—	38
			60	67	330	—	36
センターフード (天井取付タイプ)		弱	50	31	180	—	26
			60	31	160	—	25
		常時 換気	50	18	115	—	18
			60	22	130	—	20

消費電力、風量、騒音の測定はJIS C9603による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

レンジフードファンに使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

アフターサービス (必ずお読みください)

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切り後6年間保有しています。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。
ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。
(1) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、異常電圧等不慮の事故により生じた故障および損傷。
(2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。

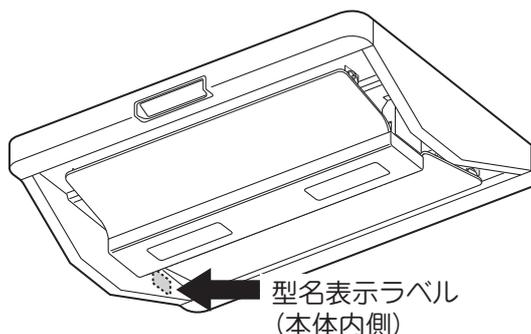
修理を依頼されるときは

17ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し分電盤のブレーカを切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡していただきたい内容	
品名	レンジフードファン
型名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくことでサービスを依頼される時に便利です。

レンジフードファンの型名は、本体の内側に表示してあります。

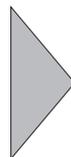


愛情点検



ご使用の際、このような症状はありませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異常な音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。



ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。
サービスを依頼される
とき、お役に立ちます。

購入店名

電話 ()

ご購入年月日

平成 年 月 日

『サットレールスプレー』『サットレールシート』の
お取り扱い窓口は

フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ ☎ 0120-227-266
FAX 042-768-3383
ホームページ <http://www.fuji-tech.jp/>
受付時間 9:00~17:45
(土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)

〔製造元〕

富士工業株式会社

〒229-0006 相模原市淵野辺2丁目1番9号
お客様ご相談窓口 ☎ 0120-071-686
受付時間 9:00~18:00
(土、日、祝日、夏季休暇、年末年始を除く)